



2023年1月期 決算発表ご説明資料

(当社第13期 2022年2月1日～2023年1月31日)

丸善CHIホールディングス株式会社

2023年3月16日

1. 当社の体制図

知の生成と流通に革新をもたらす企業集団
丸善CHIホールディングス(株)

セグメント 事業会社	文教市場 販売事業	図書館 サポート事業	店舗・ネット 販売事業	出版事業	その他事業
丸善 雄松堂	丸善雄松堂(株)				丸善雄松堂(株) (株)第一鋼鉄工業所 (株)編集工学研究所
図書館流 通セン ター	(株)図書館流通センター (株)図書館総合研究所			(株)岩崎書店	(株)明日香 グローバルソリュー ションサービス(株) (株)図書流通
丸善 ジュンク 堂書店	(株)丸善ジュンク堂書店 (株)淳久堂書店 台湾淳久堂股份有限公司				
丸善出版				丸善出版(株) 丸善プラネット(株)	

2. 当期・2023年1月期 業績サマリー・予想比

- 売上高は、文教市場販売事業で教育・研究施設、図書館などの設計・施工において大型案件の完工が想定より減少したこと、店舗・ネット販売事業では行動制限は緩和されたものの、オミクロン株の発生などで、とくに都心部で客数回復が想定を下回ったことなどにより、対業績予想比5.2%減の1,627億99百万円となった。
- 一方、利益面においては、業務効率化による販管費削減に努めたものの水道光熱費高騰の影響を受け、期初の業績予想に対し営業利益が21.8%減の31億29百万円、経常利益は対業績予想比19.4%減の30億61百万円となった。親会社株主に帰属する当期純利益は対業績予想比22.9%減の17億73百万円となった。

◆2022年2月1日～2023年1月31日

(単位：百万円)

【2023年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
業績予想値 (2022年3月11日発表)	171,700	4,000	3,800	2,300
実績 (本日発表)	162,799	3,129	3,061	1,773
対業績予想 増減	-8,901	-871	-739	-527
対業績予想 比率	94.8%	78.2%	80.6%	77.1%

2. 当期・2023年1月期 業績サマリー・前期比

- 売上高はコロナ禍の影響から、教育・研究施設、図書館などの設計・施工において顧客の投資計画進捗に遅れが見られたこと、また巣籠り需要が落ち着いたことや、前年に売れ筋コミックタイトルがあったことで、店舗売上が前年を下回り1,627億99百万円にとどまった。なお、収益認識会計基準適用の影響による売上高の減少は78億23百万円。
- 営業利益は減収の影響に加え、水道光熱費の高騰により業務効率化による経費削減効果が限定的となり、前期比23.4%減の31億29百万円、経常利益は前期比20.5%減の30億61百万円となった。親会社株主に帰属する当期純利益は前期比18.3%減の17億73百万円となった。ただし、上半期の営業利益が前年から▲1,130百万円であったのに対し、下半期（8～1月）では前年同期+175百万円となっており、年度後半は回復基調であった。
- 新型コロナウイルス感染症拡大前の2020年1月期比では、営業利益は9.4%減。

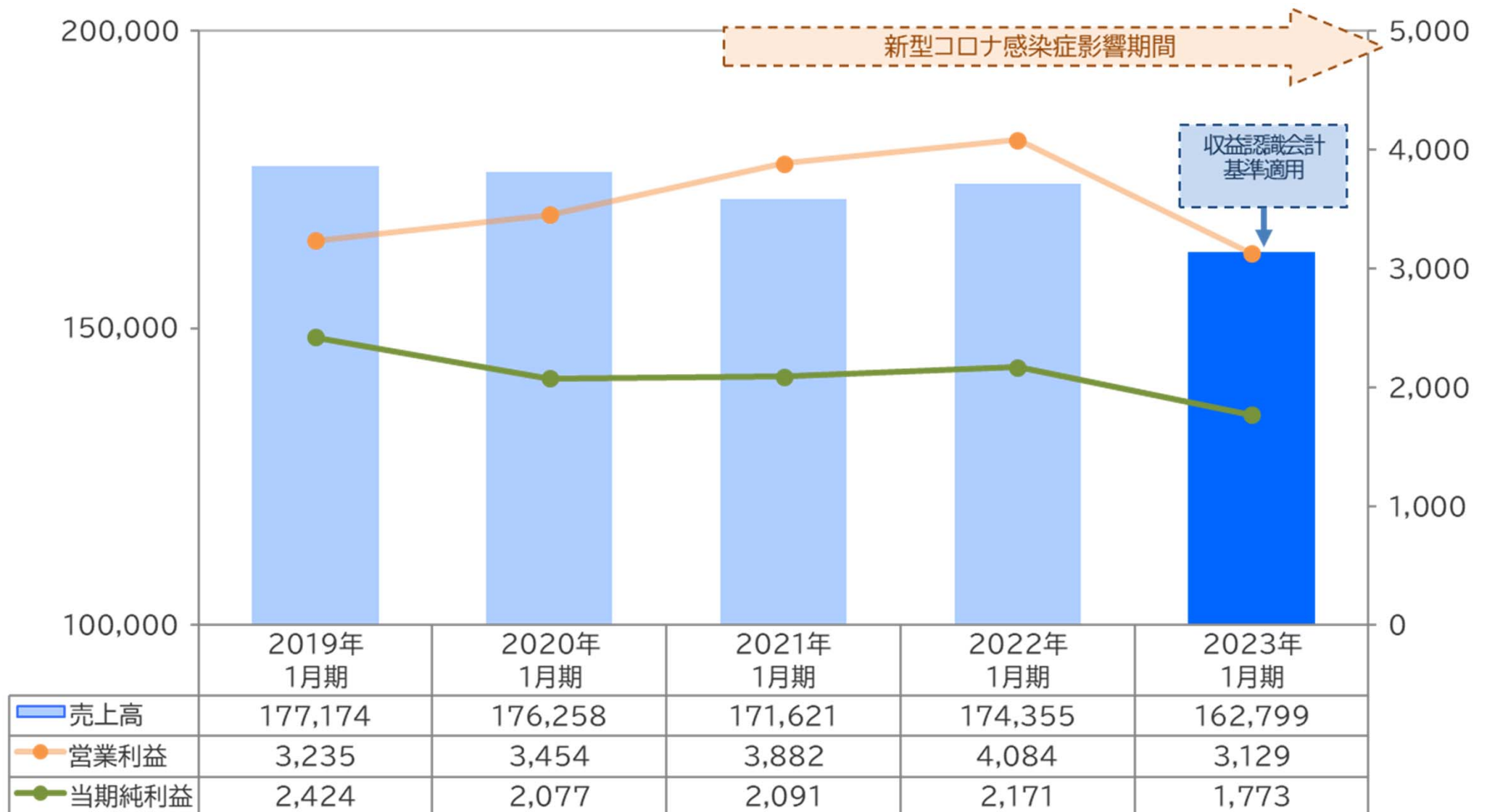
◆2022年2月1日～2023年1月31日 前期比

(単位：百万円)

【2023年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前期実績 (2022年1月期)	174,355	4,084	3,853	2,171
当期実績 (2023年1月期)	162,799	3,129	3,061	1,773
対前期 増減	-11,556	-955	-792	-398
対前期 比率	- %	76.6%	79.5%	81.7%
対2020年1月期 比率	- %	90.6%	92.8%	85.4%

2. 業績サマリー 推移表(連結)

(単位：百万円)



3. 当期・2023年1月期のセグメント損益(連結)

◆2022年2月1日～2023年1月31日

(単位：百万円)

連 結	売上高		営業利益			
	当期	前期	当期	前期	対前比	対2020年比
文教市場販売事業	47,976	56,519	3,313	3,705	89.4%	115.2%
店舗・ネット販売事業	66,310	69,824	19	307	6.3%	8.0%
図書館サポート事業	33,688	31,744	2,427	2,517	96.4%	110.9%
出版事業	4,121	4,251	265	248	107.1%	1472.2%
その他事業	10,703	12,015	204	321	63.6%	22.3%
消去又は全社	---	---	-3,100	-3,014	---	
合 計	162,799	174,355	3,129	4,084	76.6%	90.6%

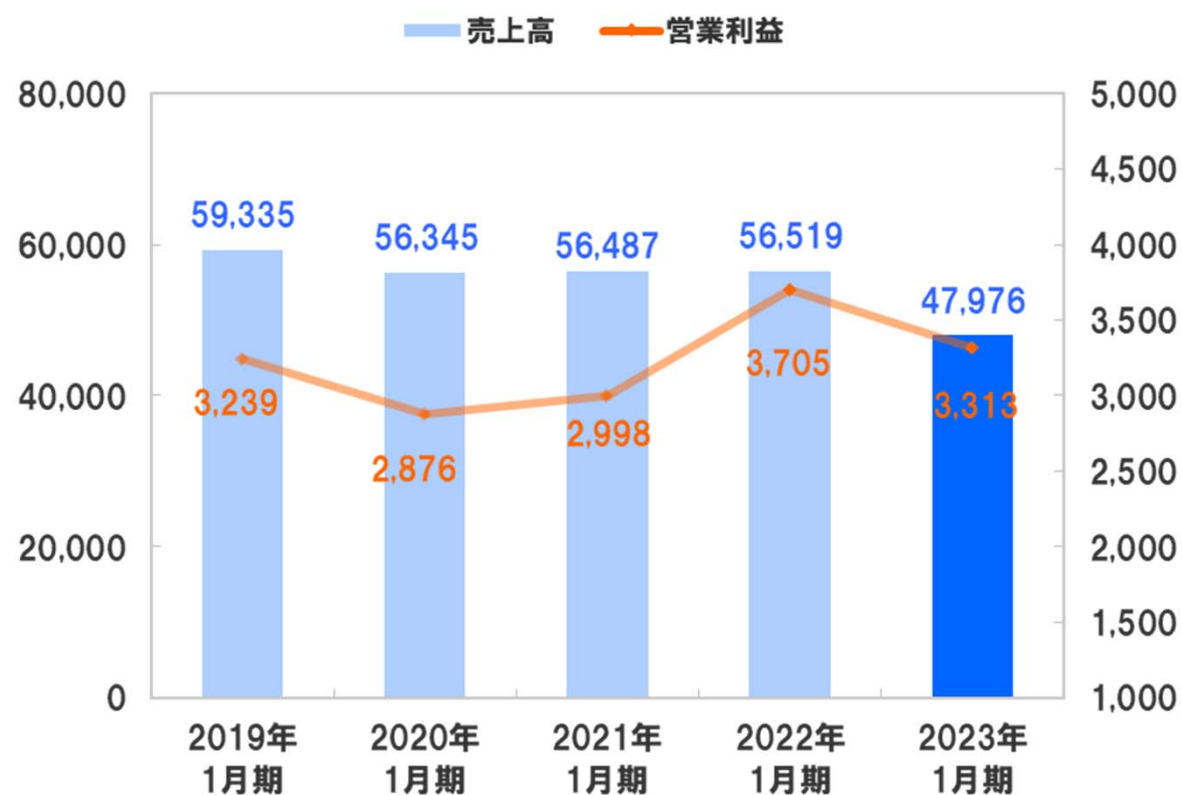
※売上高については、収益認識会計基準適用による影響があるため、前年等との比較を記載しておりません。

5 なお図書館サポート事業においては収益認識会計基準適用の影響はありません。

4. 主要事業 ①文教市場販売事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2023年 1月期	47,976	3,313
対前比	-8,543 (-%)	-392 (89.4%)

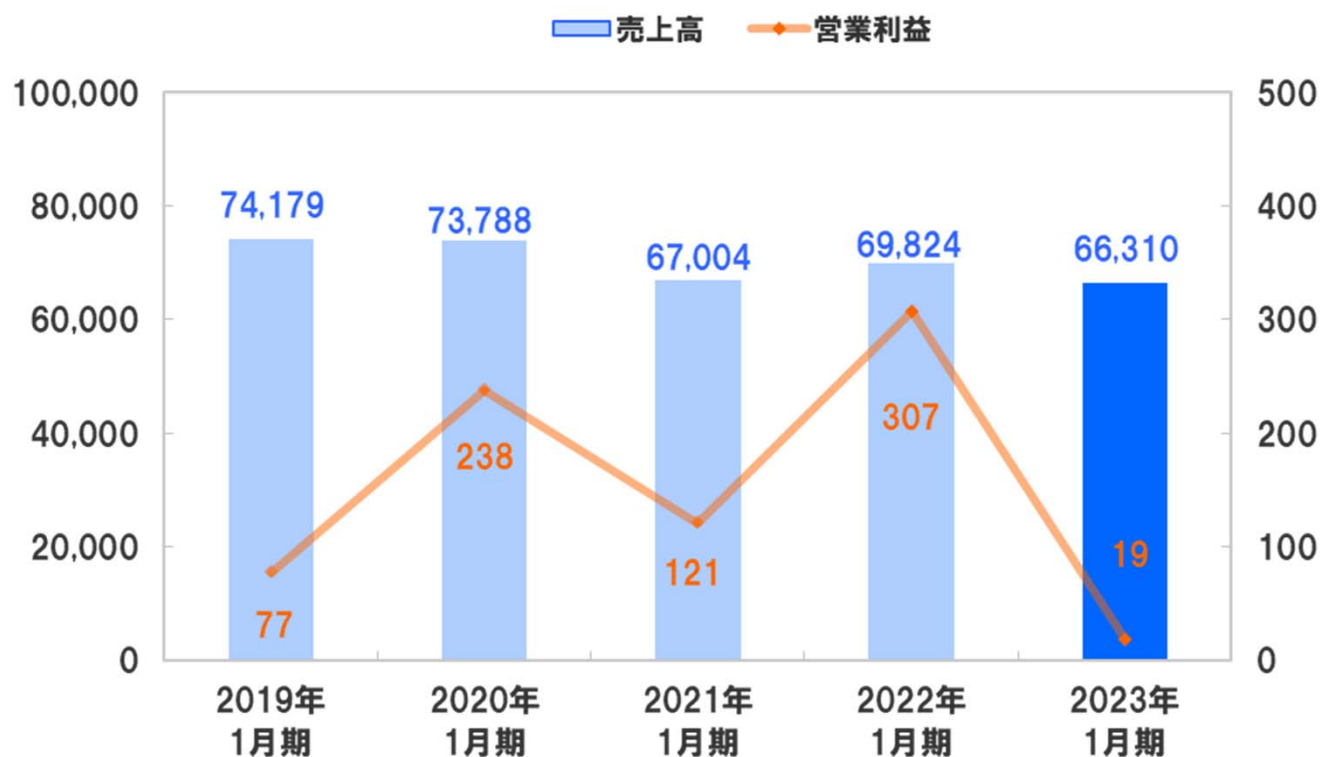


- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工においてコロナ禍の長期化により顧客の投資計画の進捗が送れている影響で大型案件などの完工が減少したこと、大学市場及び公共図書館向け書籍等販売が減少したことで、減収減益となった。
- なお、当期より収益認識会計基準を適用した影響により、売上高が5,337百万円減少している。

4. 主要事業 ②店舗・ネット販売事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2023年 1月期	66,310	19
対前比	-3,514 (-%)	-288 (6.3%)



- 知育系雑貨の拡大や、オフィシャルショップやラウンジなど書籍以外の新規業態の店舗開店に取り組んだが、コロナの巣籠り需要も落ち着き、またオミクロン株の影響などで、とくに都心で来店客数が伸びず減収減益となった。

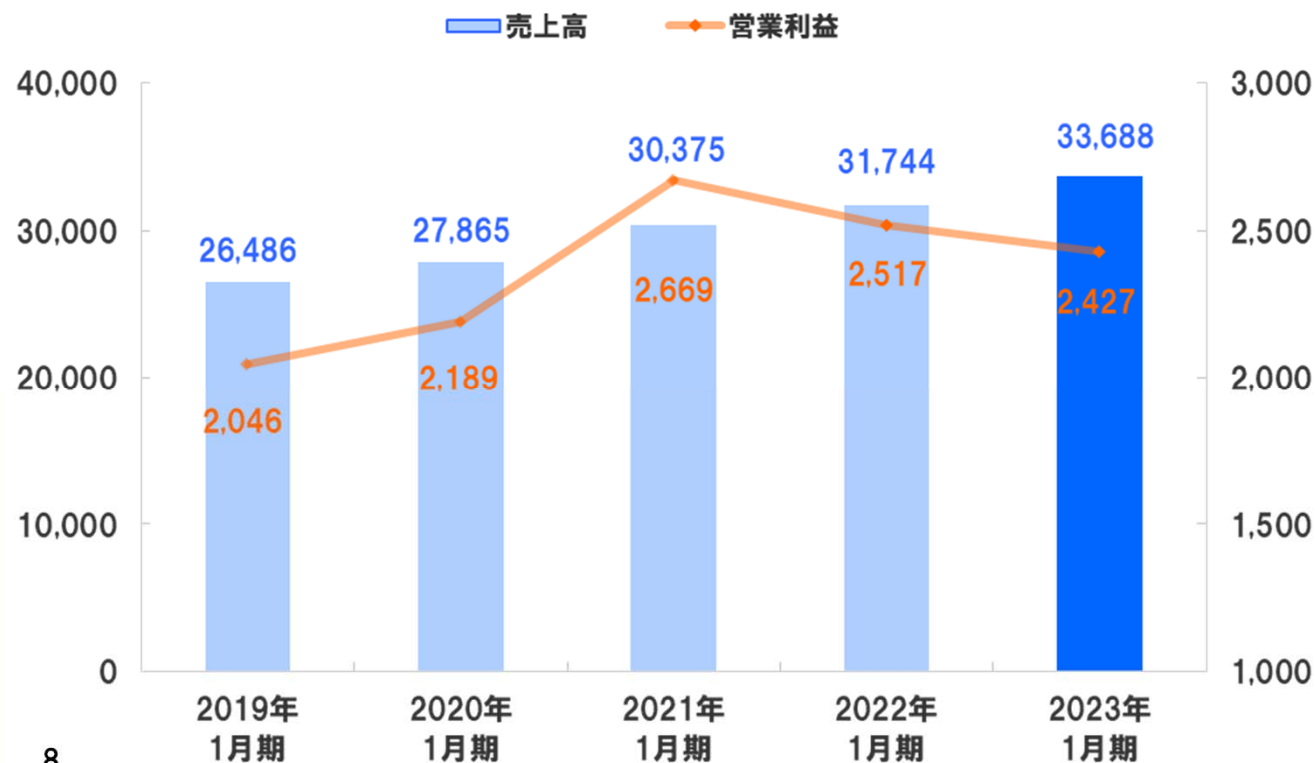
- なお、当期より収益認識会計基準を適用した影響により、売上高が2,243百万円減少している。

2023年1月末時点における店舗数は「MARUZEN」「ジュンク堂書店」ブランド以外の店舗を含め、108店舗となっている。

4. 主要事業 ③図書館サポート事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2023年 1月期	33,688	2,427
対前比	1,944 (+%)	-90 (96.4%)

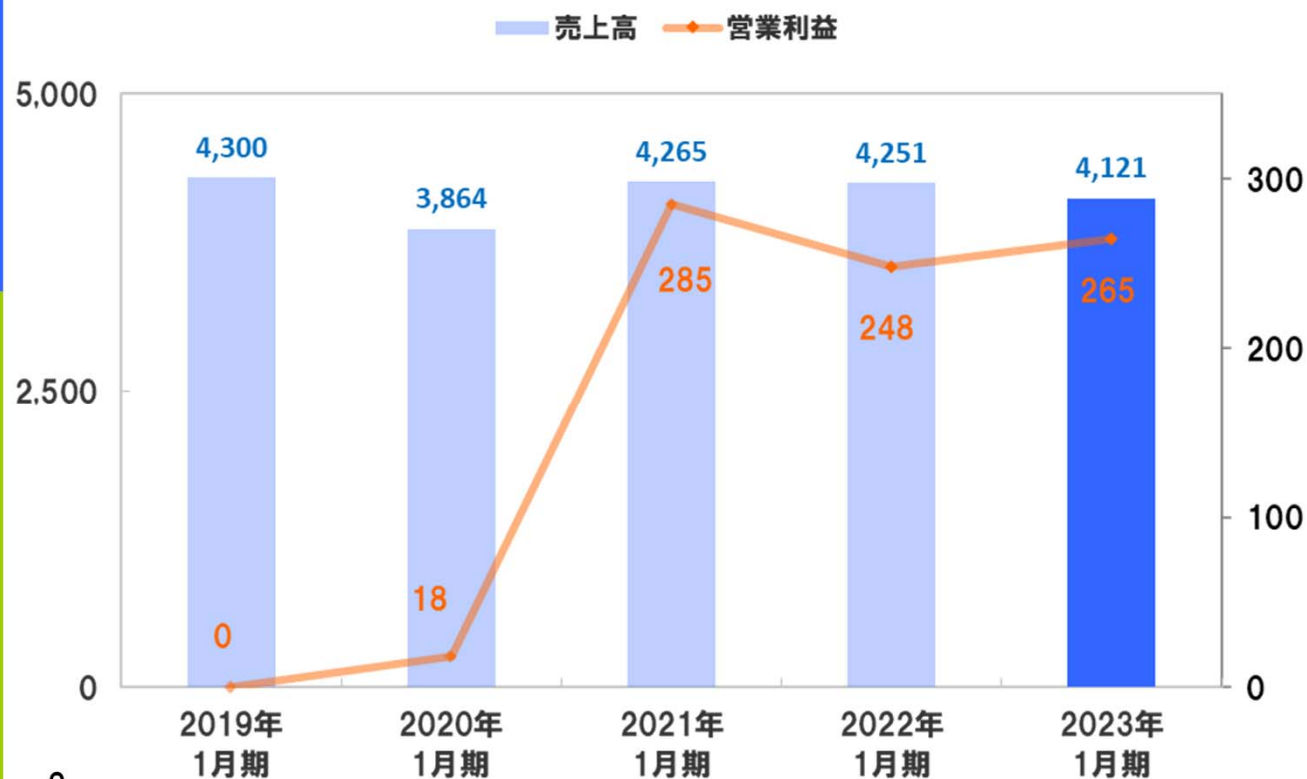


- 図書館受託館数は前期の1,697館から89館増加し、1,786館となったことで、増収となった。
- 一方で営業利益は、競争力の中核が人材であるために、労働市場全体での賃上げの影響もあり人件費が上昇、また水道光熱費高騰も大きく影響し減益となった。

4. 主要事業 ④出版事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
2023年 1月期	4,121	265
対前比	-130 (-%)	17 (107.1%)



- 当期は児童書分野及び専門書分野をあわせて、232点を刊行した（前期244点）。
- 当期は専門書分野の新刊刊行の遅れの影響もあり、減収となったが、児童書分野では、谷川俊太郎・合田里美の「ぼく」が話題になるなど好調に推移し、増益となった。

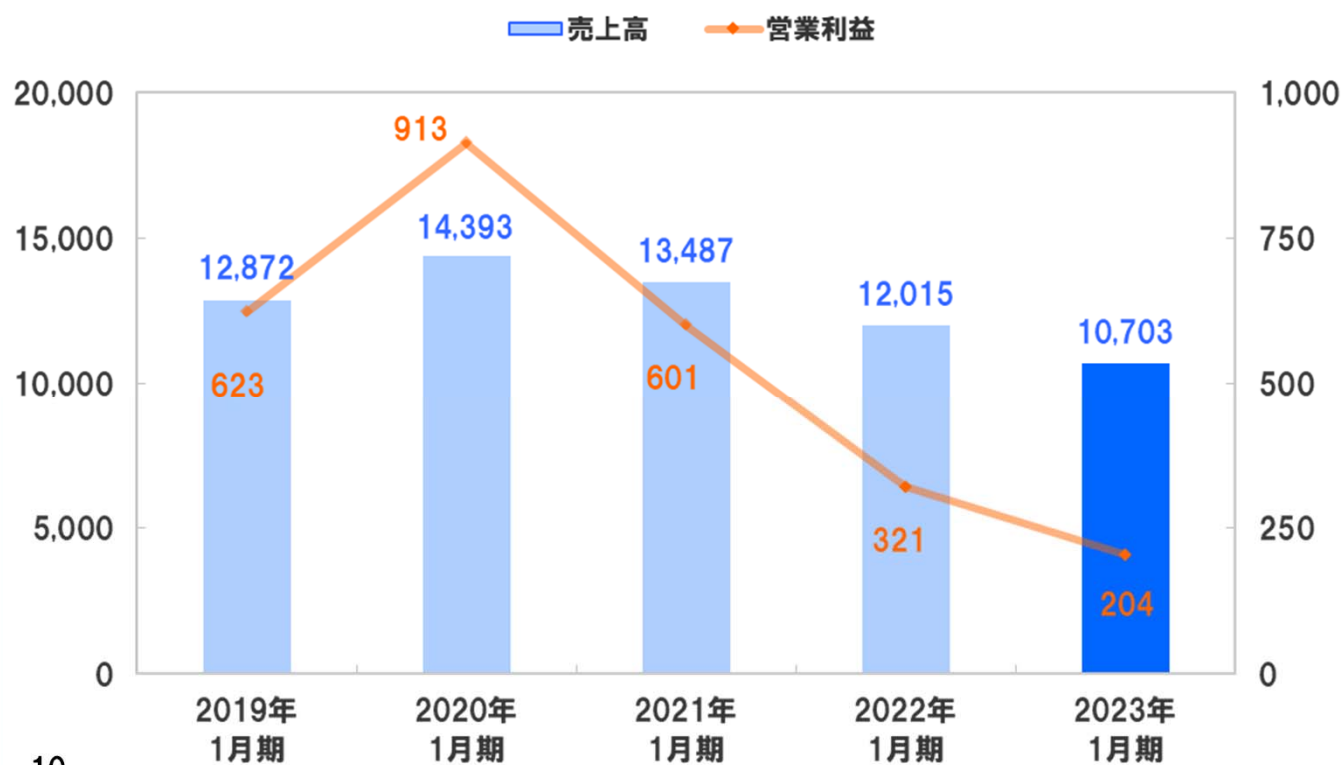


谷川俊太郎・著 合田里美・絵 「ぼく」
岩崎書店刊

4. 主要事業 ⑤その他事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2023年 1月期	10,703	204
対前比	-1,312 (-%)	-117 (63.6%)



- 総合保育サービス事業は堅調に推移し、店舗内装業においても顧客の投資意欲は徐々にではあるが回復傾向にある。
- 一方パソコンの修理・アップグレード設定等事業において半導体不足のなか一部の部品に供給遅延が生じていること、行動制限緩和後も客足が戻っていないことが影響し減収減益となった。
- なお、当期より収益認識会計基準を適用した影響により、売上高が198百万円減少している。

5. 来期・2024年1月期(当社第14期)業績予想

- 当社グループでは、2024年1月期においても、3つの戦略テーマ「学びとともに生きる社会への取り組み」「地域創生への貢献」「新しい書店収益モデルの創造」のもとに事業を推進するとともに、コロナ禍で変化し定着した生活様式や顧客のニーズをとらえたサービスの提供に注力いたします。
- 加えて、グループビジョンである知の生成と流通へのさらなる貢献を目指し、電子書籍等を活用し、専門家の調査・分析業務の効率化を提供するWebサービス「丸善リサーチ」の開発に着手し、2023年中のサービス開始を目指しています。
- また、デジタル情報技術の急速な発展を背景にした教育現場でのIT活用やコロナを経た社会の行動変容に対応した新規事業開発にも注力してまいります。
- 以上の要因により、2024年1月期の通期連結業績予想は、売上高167,000百万円、営業利益3,500百万円、経常利益3,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,000百万円としております。

【2024年1月期予想】 (単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
通期連結業績予想	167,000	3,500	3,400	2,000
【2023年1月期通期実績】	162,799	3,129	3,061	1,773
当期実績との比較	102.6% +4,201	111.8% +371	111.0% +339	112.8% +227

ご参考資料

当期のトピックス

MY:丸善雄松堂、MJ:丸善ジュンク堂書店、TRC:図書館流通センター、DNP:大日本印刷

- 3月 丸善出版、超ロングセラー「いかにして問題をとくか」をリニューアル。電子書籍でも発売
- 4月 TRC、富士山マガジンサービスと電子雑誌読み放題サービス「TRC-DLマガジン」を正式リリース
- 5月 MY、オトバンクと連携し、全国の大学図書館にオーディオブックを提供開始
- 5月 丸善出版、World Scientific Publishing Co.と理科年表国際版「Handbook of Scientific Tables」を刊行
- 7月 MY、学会事務局の業務受託や学会誌発行の(株)エム・シー・アイを子会社化
- 7月 TRC、GIGAスクール構想対応の学校図書館とタブレット端末をつなぐシステム「TOOLi-Sタブレット版ぽけっと図書館」をリリース
- 8月 MJ、「Mリーグ2022-23シーズン」のスポンサー契約を締結しオフィシャルショップ開設
- 9月 丸善出版、日本視聴覚教育協会の2022年度優秀教材選奨でDVD商品「障害のある人とともにー学ぶ、働く、暮らすことを考えるー」「医療現場における性の多様性」が優秀作品賞を受賞
- 9月 MYと子会社の編集工学研究所、敦賀駅西地区に、知育・啓発施設「ちえなみき」の供用を開始
- 9月 MY、東京学芸大学、東京学芸大こども未来研究所とともに、こどもの想像・創造力を育む共同研究「ぴっくぱ〜んプロジェクト」を開始
- 10月 MYとTRCが連携し電子図書館Maruzen eBook Libraryの全国公共図書館への販売を開始
- 10月 TRC、電子図書館サービスの導入自治体が300を突破
- 10月 MJ、株式会社トーハンと出版流通改革の共同プロジェクトを開始
- 10月 MCH、DNPと共に「よこはま共創博覧会2022」で、「本と出会い、つながる」ワークショップを実施。ワークショップで作成した「帯」が実際に巻かれた本は、MJが運営する横浜市庁舎2階の「丸善HAMARU ラクシスフロント店」で展示・販売

当期のトピックス

MY:丸善雄松堂、MJ:丸善ジュンク堂書店、TRC:図書館流通センター、DNP:大日本印刷

- 11月 TRC子会社(株)図書館総合研究所が(株)ひらくとの共創事業として、図書館を研究・発信し、まじめに面白いするための場「超図書館総合研究所」を設立
- 11月 MY子会社(株)編集工学研究所、理化学研究所と共同でシリーズ第6弾「科学道100冊 2022」発表
- 11月 MJ、FIFAワールドカップ カタール開催に合わせ、日本サッカー協会オフィシャルグッズストア「JFA STORE」の期間限定店舗をオープン
- 12月 TRCが提供する軽自動車の移動図書館車「LiBOON」専用の、ヨシタケシンスケ氏のデザインが完成
- 12月 MJ、株式会社駿河屋BASEが展開する「駿河屋」にフランチャイズ加盟。1店舗目として2023年3月にジュンク堂書店 新潟店内に「駿河屋新潟駅南店」をオープン
- 12月 MYと編集工学研究所が供用している敦賀駅西地区の知育・啓発施設「ちえなみき」で、9月のオープン以来来場者が10万人を突破
- 1月 MJ 丸善 仙台アエル店の従業員である佐藤厚志が『荒地の家族』で、第168回(2022年下半期)芥川龍之介賞を受賞

大型車では行けないような地域の隅々まで本を届けたいとの願いで始まったLiBOON

2023年2月に四万十町に導入されたLiBOONはヨシタケシンスケ氏デザインで多くの方に親しみや愛着を持って迎えられています。



丸善ジュンク堂書店店舗情報

出 店

3月	ジュンク堂書店松山三越店オープン(愛媛県、書籍・雑誌・コミック・文具・雑貨、340坪 旧店舗から移転)
3月	丸善豊田T-FACE店オープン(愛知県、書籍・雑誌・コミック・知育玩具・雑貨、360坪)
6月	EHONS UMEDAオープン(大阪府、MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店3階、12坪)
9月	M.LEAGUE OFFICIAL SHOP 東京オープン(東京都、丸善 日本橋店 3階)
9月	M.LEAGUE OFFICIAL SHOP 大阪オープン(大阪府、MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店2階)
12月	Personal Lounge 丸善の三階オープン(東京都、丸善 丸の内本店3階)

閉 店

1月	MARUZEN&ジュンク堂書店 渋谷店
1月	ジュンク堂書店/MARUZEN 岡島甲府店





MARUZEN CHI
Holdings

本資料には、当社および当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。